

【26】 西洋事情 外編

刊3冊

〔書名よみ〕せいようじじょう がいへん 〔著編者〕福澤諭吉纂輯

〔写刊年次〕明治五年壬申（一八七二）（再版発行）

〔所蔵者整理書名〕西洋事情 外編

〔外題〕西洋事情 外編

〔内題〕西洋事情外編

〔その他題〕〔版心〕西洋事情外編（題言）卷三

〔残欠状況〕完本 〔保存状況〕やや不良（糸のほつれ、角裂の欠落あり。） 〔装訂〕袋綴・四つ目。草色角裂あり。 〔紙数〕①五七丁

②五四丁 ③五四丁 〔本文用字〕漢字、カタカナ 〔二面行数〕一〇

行 〔匡郭〕四周・子持双辺、縦一五・四×横一〇・九糎 〔界線〕ナシ

〔表紙〕砥粉色・無地 〔法量〕縦二二・二×横一五・三糎 〔料紙〕

楮紙 〔書入〕アリ 〔蔵書印〕①②③ 〔松齋〕「春光□人」（朱印）

〔備考〕ナシ

〔解題〕

『西洋事情』（初編）に続き、本来は『西洋事情 二編』が編まれる予定であったが、実際には本書『西洋事情 外編』が二編よりも前に刊行されている（初版慶應三年（一八六七））。本書の目録は以下の通り。

卷之一

人間

家族

人生ノ通義及ヒ其職分

世ノ文明開化

貴賤貧富ノ別

世人相励ミ相競フ事

「ワット」ノ伝

「ステフェンソン」ノ伝

人民ノ各国ニ分ル、事ヲ論ス

各国交際

政府ノ本ヲ論ス

卷之二

政府ノ種類

国法及ヒ風俗

政府ノ職分

卷之三

人民ノ教育

経済ノ総論

私有ノ本ヲ論ス

勤勞ニ別アリ功驗ニ異同アルヲ論ス

發明ノ免許

蔵版ノ免許

私有ヲ保護スル事

私有ノ利ヲ保護スル事

福澤による「題言」（末尾に「慶應三年丁卯季冬 福澤諭吉 識」とある）には、『西洋事情』（初編）を編んだ際、それが自らの洋行中に見聞した事柄を手控えに残したものをベースに編んだため、「其遺漏固ヨリ少ナカラズ因テ今英人チャンブル氏所撰ノ経済書ヲ訳シ傍ラ諸書ヲ鈔訳シ増補シテ三冊ト為シ題シテ西洋事情外編ト云フ」とし、外篇の典拠を明らかにしている。但し、「チャンブル氏」すなわちチェンバーのいずれの著作なのか、「題言」には明記されていない。

また、「書中原本ノ順序ニ從テ条目ヲ立テ間其他書ヲ鈔訳シテ増補スルニ係ルモノハ其字行ヲ一段下クシ以テ本文ト區別ス覽者草々看過シテ混スルヲ勿レ」とし、引用の意識が明確にあることがわかる。

卷三の巻末には「慶應義塾蔵梓」として、現在に言う広告が掲載されている。ここには、当時の出版社慶應義塾が刊行していたものが一覽に供されていると同時に、近刊予告も確認できる。既刊のものに、福澤諭吉の『西洋事情』(全三冊)、『西洋旅案内』(全二冊)、『條約十一ヶ国記』(全一冊)、『華英通語』(全一冊)、片山淳之助『西洋衣食住』(全一冊)、小幡篤次郎『英文熟語集』(全一冊)がある。近刊のものとして、福澤諭吉『西洋事情 二集三集』(全三冊)、『訓蒙窮理図解』(全三冊)、小幡篤次郎『天変地異』(全一冊)が挙げられているが、『西洋事情 二集三集』は結局刊行されることがなかった。

これらの広告に続き、卷三の五四丁裏には大きく「不許偽板」と刷られている。明治初期には版權が確立しておらず、海賊版が横行していたこと、また、慶應義塾がそれに悩まされ、対応を試みていたことが示されている。

福澤は、近代日本の黎明の時にあって、出版事業や出版物とそれらの權利にいち早く目を向けていた。『西洋事情外篇』卷三には「コピーライト」、つまり著作権に関する言及があることがよく知られている(参考文献参照)。そのことが端的に示されているのが、「私有ノ本ヲ論」の章のうち、特に以下の部分である。

私有ノ種類ニ尚又一層ノ美ヲ尽シ繁ニシテ且密ナルモノアリ即チ發明ノ免許蔵版ノ免許等是ナリ国法ノ趣旨ハ人ノ私有ヲ保護シ以テ其勤工ヲ太助ケ成ス所以ノモノナリ世ニ新發明ノ事アレハ之ニ由テ人間ノ洪益ヲ成スヲ挙テ云フ可ラス故ニ有益ノ物ヲ發明シタル者ヘハ官府ヨリ国法ヲ以テ若干ノ時限ヲ定メ其時限ノ間ハ發明ニ由テ得ル所ノ利潤ヲ独リ其發明家ニ附与シテ以テ人心ヲ鼓舞スルノ一助ト爲

セリ之ヲ發明ノ免許^{パテント}〔patent 特許のこと。——尾崎注〕ト名ツク〔中略〕又書ヲ著述シ図ヲ製スル者モ之ヲ其人ノ蔵版ト為シテ独リ利ヲ得ルノ免許ヲ受ケ以テ私有ノ産ト為セリ之ヲ蔵版ノ免許^{コピーライト}ト名ツク

「權利」があるということ、それは目に見えないものが保障されるということ、公共性が「人間ノ洪益ヲ成スヲ」、つまり社会・共同体全体の利益を促進するという意味において再定義されること——こうした近代社会に特有の価値観が流れ込んでいることがわかる。そして、これまでの慶應義塾の海賊版に対する対応を顧みれば、それが単に西洋の進歩的な思想として入ってきたのではなく、必然性を伴いつつ積極的に紹介されたことは明白だろう。

本書の編集にあたり、チェンバーの著作が適宜参照されたことは先に述べたが、その全訳ではなく抄訳、あるいは概要の紹介に留まっているのはなぜだろうか。その意図と事情について福澤は「敢テ其勞ヲ憚ルニ非ラス」と言う。続けて、当時の日本国内で翻訳書が次々と刊行されている状況に言及しつつ、「固ヨリ彼ノ百科万端ノ學術有限ノ力ヲ以テ無限ノ書ヲ讀ム力故ニ仮令吾社ノ翻訳ヲ業トスル者各科目ヲ分チ力ヲ陳テ之ヲ訳スルトモ其全備ヲ期スルカ如キハ甚容易ナラス」と訳業の困難を理由としている。さらには、「今大同小異ノ書ニ於テ無益ノ勞ヲ費サンヨリ寧ロ其力ヲ他書ニ用ヒ務テ新奇有益ノ事件ヲ訳シ広ク之ヲ世ニ布告センニハ如カス」とも述べている。

明治初年代がまさしく啓蒙の時代であったことや、西洋の知の枠組みが些か性急に持ち込まれた、近代日本の黎明を伝える文言となっている。

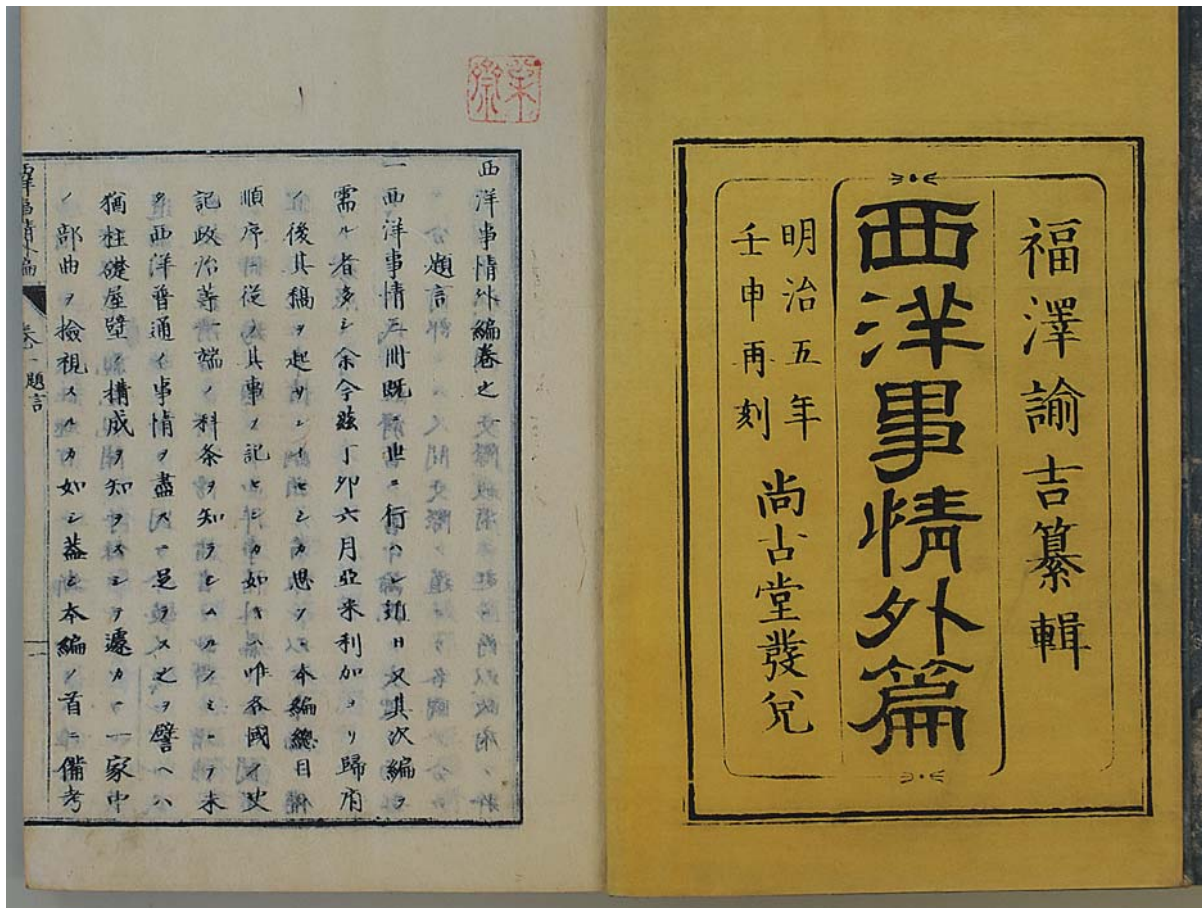
なお、①と②の巻末には、毛筆で「春光山円覚寺蔵書」とあり、また、③の見返しには毛筆で「癸酉明治六年七月新調全部六冊」、「春光山円覚寺蔵書」と書き入れられている。円覚寺には、少なからぬ点数の慶應義塾の出版物が蔵されているが、「全部六冊」とあるのは蔵書印や裏表紙

への書き入れから、この『西洋事情外篇』（三冊）の他、『西洋旅案内』（上下二冊）と『西洋旅案内外篇』（一冊）を指すものと推定される。『西洋事情二編』（三冊）については、蔵書印が「尊海」という丸い朱印であること、書き込みが「円通閣下海浦尊海蔵書」となっていることから異なる機会に入手したものとみてよいだろう。

〔参考〕

- ・河北展生「『西洋事情』諸版本について」『史学』第三二卷第三号、一九五九年一月
- ・河北展生「福澤諭吉の初期の著作権確立運動」『近代日本研究』第五号、一九八九年三月
- ・飯田鼎『チェンバース経済書』と福沢諭吉——幕末における西欧経済学研究の一齣——『三田学会雑誌』第八四卷第一号、一九九一年四月
- ・海浦由羽子『駿乗末資海浦義観』（深浦町教育委員会、二〇〇三年三月）
- ・堀井健司「幕末維新期における版權についての一考察——二つの書籍の分析を通して」『出版研究』第四〇号、二〇〇九年三月
- ・渡辺麻里子監修・編集『深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書』第一集（弘前大学人文社会科学部・弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター）深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト、二〇一九年三月

（尾崎 名津子）



ノ附々々々原此趣百ナレズ如キハ唯余カ
一時旅中ノ親見親聞ヲ手録セシモノナレハ其
遺漏固、リシカヲカラバ因テ今英人キヤンブル氏
所撰ノ經濟書ノ譯ニ傍ラ諸書ヲ鈔譯シ増補シ
テ三冊ト爲シ題レテ西洋事情外篇ト云フ閱者
宜シク之ヲ事情ノ綱領ト看做シ以テ本編ノ備
考ト參照ス可シ

一、キヤンブル氏ノ經濟書ハ書中論說ノ大段ヲ兩部
ニ分テ前部ハ人間交際ノ道ヨリ各國ノ分立
スル所以各國ノ交際政府ノ起ル所以政府ノ幹

裁國法風俗及ヒ人民教育等ノ箇条ヲ說キロレ
テ「サオヤル」エココノ「」トシ後部ハ經濟
世ノ事件ヲ論シコレヲ「ボリ」ナカレエココノ「」
トス然ルニ項日社友神田氏所譯ノ經濟小學二
冊ヲ得テ之ヲ閱スルニ其實第二段ニ載スル
所ト略相似クレハ畢竟又大同小異ノ書ニ過ス
因テ余ハ唯本書中首ノ一段ヲ譯シ其餘經濟論
ノ詳ナルハ姑ク閣シテ之ヲ小學ニ讓レリ故ニ
此書ヲ讀ム者ハ必ク經濟小學ト參考シテ始テ
全昇ノ真味ヲ知ル可シ但シ余カ此書ノ全部ヲ

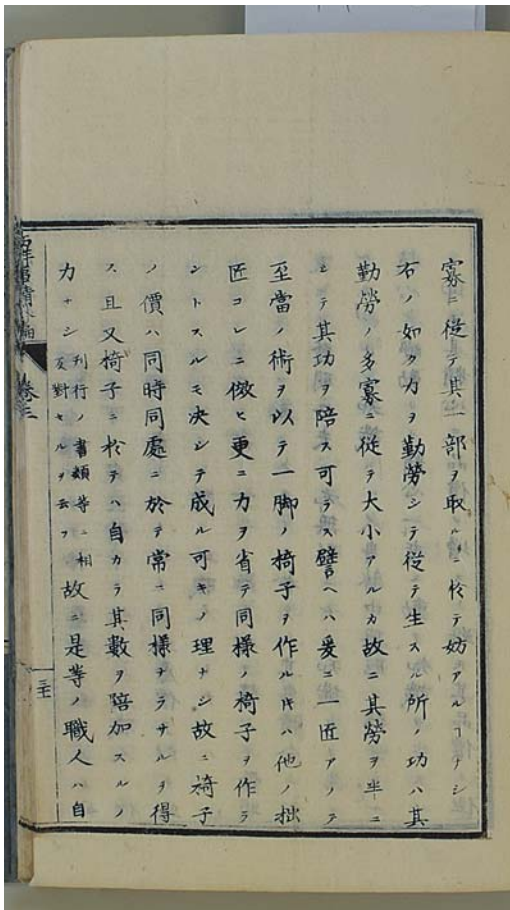
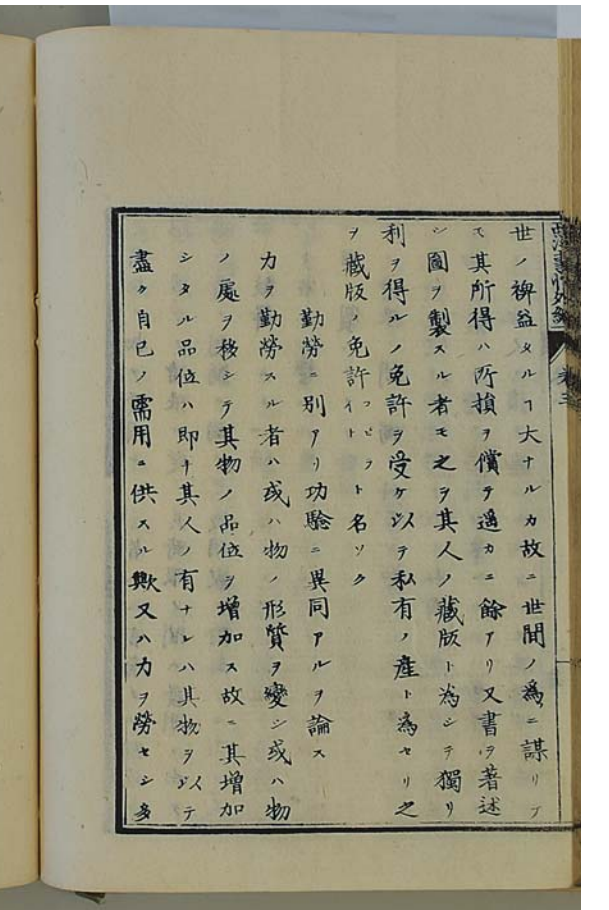
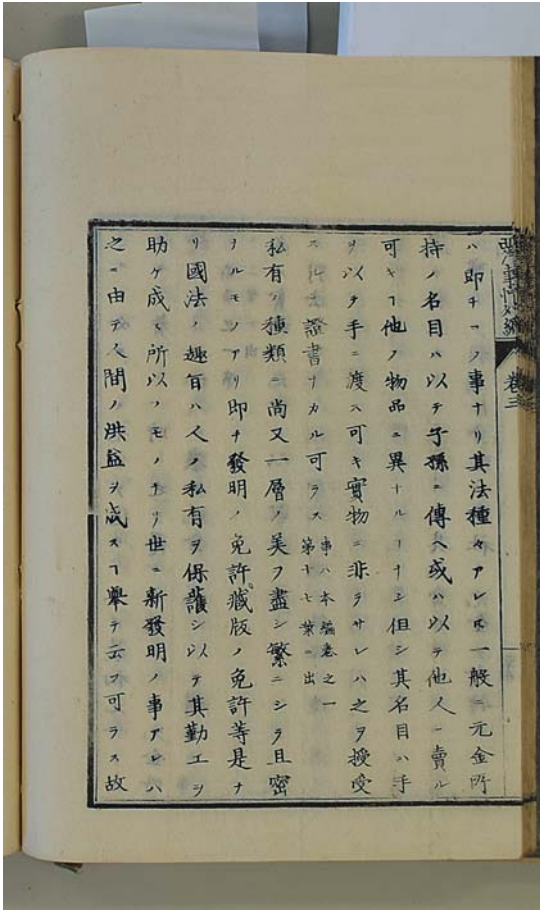
名譽書翰 卷一題言

譯セサルハ敢テ其勞ヲ憚ルニ非ラス抑方今文
化益開ケ翻譯ノ書陸續世ニ出ルト雖固ヨリ
彼ノ百科萬端ノ學術有限ノカヲ以テ無限ノ書
ヲ讀ムカ故ニ假令吾社ノ翻譯ヲ業トスル者各
科目ヲ分チカヲ陳テ之ヲ譯スルトモ其全備ヲ
期スルカ如キハ甚容易ナラス況ヤ今大同小異
ノ書ニ於テ無益ノ勞ヲ費サンヨリ寧ロ其力ヲ
他書ニ用ヒ務テ新奇有益ノ事件ヲ譯シ廣ク之
ヲ世ニ布告セシニハ如カス是余カ此書ノ全部
ヲ譯セサル所以ノ鄙意ナリ知ラス今果シテ其

然ルヤ小學ニコレヲ分業ノ便利ニ由ルト謂フ
モ豈亦善ラズヤ
一書中原本ノ順序ニ從テ各目ヲ立テ間其他書ヲ
鈔譯シテ増補スルニ係ルモノハ其字行ヲ一段
下クシ以テ本文ト區別ス覽者草々看過シテ混
スルト勿レ

慶應三年丁卯季冬
福澤諭吉 誌

名譽書翰 卷一題言



人爲ノ國法ヲ以テ定メタルモノニ非ラズ天然
 然ラシム所ニテ猶水ノ依ニ就クカ如シ國法ノ
 主宰ハ唯其地面ノ主人ヲ定メ其授受賣買ノ規則
 正々ハ、ミ抑些少ノ功勞モナクシテ地代ノ利
 潤ヲ一人ニ附與スルハ理ナキニ似カレ其未
 所ヲ尋レハ元人ノ物ヲ奪ヒシニモ非ラズ亦他人
 カノ勞役セレニモ非ラザレハ前條ニモ記載セ
 ル道理ニ從ヒ之ヲ其主人ニ與フルヲ以テ至當ノ
 處置ハ、セリ
 西洋事情外篇卷之三終

慶應義塾藏梓

慶應義塾藏
藏明

- 西洋事情 福澤諭吉著 全三冊 條約土國記 全一冊
- 同 二集三集 近刻 西洋衣食住 全一冊
- 同 外編 全一冊 英文熟語集 全一冊
- 西洋旅案内 福澤諭吉著 全一冊 華英通語 全一冊

福澤諭吉著
 蒙窮理圖解 全一冊
 小樽萬次郎著
 天變地異 全一冊
 鹿橋近刻

不許偽板

- 肆書
- 京都 出雲寺文次郎
 - 大坂 伊門屋善兵衛
 - 尾陽 永樂屋東四郎
 - 勢州津 藤山伊一郎
 - 東都 出雲寺萬次郎
 - 内町屋彌平治
 - 岡内屋嘉七